

1963年 大会記録

国際

◇日ソ対抗戦（2月）

- 第1戦 ● [2-5] ○ソ連 (19日、群馬・前橋スポーツセンター)
第2戦 ● [3-4] ○ソ連 (22日、兵庫・神戸YMCA)
第3戦 ● [1-6] ○ソ連 (24日、神奈川・横浜文化体育館)
第4戦 ● [2-5] ○ソ連 (26日、東京・東京体育館)

◇全米選手権（4月3～6日、米国・サンフランシスコ）

◇世界選手権＝フリースタイル（5月31日～6月2日、ブルガリア・ソフィア）

▼フライ級 今泉雄策（中大OB）＝4位、▼バンタム級 池田博志（明大）＝2位、▼フェザー級 渡辺長武（中大OB）＝優勝、▼ライト級 堀内岩雄（日大）＝優勝、▼ウェルター級 織部公博（自衛隊）＝三失、▼ミドル級 佐々木龍雄（日大）＝4位、▼ライトヘビー級 斎藤昌典（明大）＝三失、▼ヘビー級 北川安彦（千代田紙工）＝二失

◇マンチェスター国際大会（6月19日、英国・マンチェスター）

▼フライ級 今泉雄策（中大OB）＝優勝、▼バンタム級 池田博志（明大）＝2位、▼フェザー級 渡辺長武（中大OB）＝優勝、▼ライト級 堀内岩雄（日大）＝優勝、▼ウェルター級 織部公博（自衛隊）＝三失、▼ミドル級 佐々木龍雄（日大）＝優勝、▼ライトヘビー級 斎藤昌典（明大）＝2位、▼ヘビー級＝出場せず

◇世界選手権＝グレコローマン優勝者（7月1～3日、スウェーデン・ヘルシンクボリ）

▼フライ級 山本定夫（関大）＝5位、▼バンタム級 桜間幸次（自衛隊）＝6位、▼フェザー級 岩室好純（明大）＝5位、▼ライト級 秋山行晴（早大）＝二失、▼ウェルター級 波山龍美（明大）＝三失、▼ミドル級 風間貞夫（明大OB）＝三失、▼ライトヘビー級 中浦章（拓大OB）＝二失、▼ヘビー級 森田祥業（拓大OB）＝三失

国内

◇東日本学生春季新人戦（4月13～14日、東京・青山レスリング会館）

《フリースタイル優勝者》▼フライ級 月岡金四郎（法大）、▼バンタム級 福田富昭（日

大)、▼フェザー級 飛田義治(中大)、▼ライト級 田上明男(慶大)、▼ウェルター級 宗村宗二(明大)、▼ミドル級 亀井三郎(専大)、▼ライトヘビー級 野島憲三(中大)

※フリースタイルのみ

◇東日本学生リーグ戦(5月1日～6月16日、東京・青山レスリング会館)

《一部》①中大(2年ぶり8度目)、②日大、③専大、④明大、⑤早大、⑥法大、⑦慶大

◇全国高校選抜大会(5月4～5日、新潟・新潟高)

《個人戦優勝者》▼52kg級 見田隆男(新潟・新潟)、▼55kg級 松野久(新潟・新潟明訓)、▼58kg級 星勉(宮城・仙台育英)、▼61kg級 梅津清美(山形・山形商)、▼65kg級 川崎敏雄(茨城・水戸農)、▼69kg級 賀井寛(新潟・新潟)、▼73kg級 笹川一夫(新潟・新潟明訓)、▼73kg以上級 小島俊二(群馬・館林)

《学校対抗得点》①新潟・新潟(初)、②新潟・新潟商、③茨城・水戸農

◇西日本学生春季リーグ戦(5月7～9日、関学大)

《順位》[1] 関学大(7季ぶり17度目の優勝)、[2] 関大、[3] 同志社大、[4] 名商大、[5] 近大、[6] 名城大

◇西日本学生選手権()

《フリースタイル優勝者》▼フライ級 金井洋佑(関学大)、▼バンタム級 横山瞭一(関学大)、▼フェザー級 増田輝夫(同志社大)、▼ライト級 水島和彦(関学大)、▼ウェルター級 小西輝夫(関学大)

◇インターハイ(8月25～27日、大阪・大阪府立体育会館)

《学校対抗戦》[1] 宮城・仙台育英(初)、[2] 東京・東京実、[3] 東京・三商、山形・山形商

《個人戦優勝者》▼52kg級 中田茂男(北海道・旭川南)、▼55kg級 田部井康(栃木・足利工)、▼58kg級 早武恒雄(新潟・新潟明訓)、▼61kg級 野口正明(新潟・新潟商)、▼65kg級 藤村孝次(東京・東京実)、▼69kg級 河内治彦(山口・柳井商)、▼73kg級 内山正義(新潟・新潟商)、▼73kg以上級 小島俊二(群馬・館林)

◇全日本社会人選手権(9月1日、東京・杉並区妙法寺)

《実業団対抗戦》①日野自動車工業A、②日野自動車工業B、③京浜土地、帝国石油秋田工業所

《フリースタイル優勝者》▼フライ級 今泉雄策（杉浦製作所）、▼バンタム級 山平義雄（清水食品）、▼フェザー級 佐藤多美治（日野自動車）、▼ライト級 相沢秀平（広瀬無線）、▼ウエルター級 田中三代志（日野自動車）、▼ミドル級 川野俊一（自衛隊）、▼ライトヘビー級 開健次郎（自衛隊）、▼ヘビー級＝出場なし
※フリースタイルのみ

◇全日本学生選手権（9月13～14日、東京・青山レスリング会館）

《フリースタイル優勝者》▼フライ級 吉田嘉久（法大）、▼バンタム級 福田富昭（日大）、▼フェザー級 森田武雄（明大）、▼ライト級 堀内岩雄（日大）、▼ウエルター級 渡辺節義（中大）、▼ミドル級 佐々木龍雄（日大）、▼ライトヘビー級 斎藤昌典（明大）

《グレコローマン優勝者》▼フライ級 岡崎巖（日体大）、▼バンタム級 小泉正喜（専大）、▼フェザー級 間庭秀夫（日体大）、▼ライト級 宗村宗二（明大）、▼ウエルター級 田代俊郎（中大）、▼ミドル級 渡辺保夫（明大）、▼ライトヘビー級 斎藤八郎（明大）

◇東日本学生王座決定戦（10月6～7日、東京・青山レスリング会館）＝決勝成績

日大○ [7-4] ●中大
※日大は初優勝

◇全日本選手権＝グレコローマン（10月12～13日、神奈川・川崎市体育館）

《優勝者》▼フライ級 花原勉（日体大OB）、▼バンタム級 市口政光（富士商会）、▼フェザー級 大島紀夫（三友製作所）、▼ライト級 ブラニカ（ルーマニア）、▼ウエルター級 風間貞夫（新潟放送）、▼ミドル級 タナシク（ユーゴスラビア）、▼ライトヘビー級 チュチチ（ユーゴスラビア）、▼ヘビー級 バビチュビッチ（ユーゴスラビア）

◇全日本選手権＝フリースタイル（10月14～16日、千葉県営体育館）

《優勝者》▼フライ級 今泉雄策（杉浦製作所）、▼バンタム級 原三男（立大）、▼フェザー級 渡辺長武（中大OB）、▼ライト級 堀内岩雄（日大）、▼ウエルター級 兼子隆（中大学友会）、▼ミドル級 佐々木竜雄（日大）、▼ライトヘビー級 ブランド（米国）、▼ヘビー級 クリストフ（米国）

◇国体（10月28～31日、山口・光製鉄所、田布施中）

《一般フリースタイル優勝者》▼フライ級 吉田義勝（千葉）、▼バンタム級 福田富昭（富山）、▼フェザー級 渡辺長武（北海道）、▼ライト級 中山信吾（新潟）、▼ウエル

ター級 阿部一男（新潟）、▼ミドル級 佐々木竜雄（秋田）、▼ライトヘビー級 川野俊一（神奈川）、▼ヘビー級 開健次郎（埼玉）

《一般グレコローマン優勝者》▼フライ級 花原勉（山口）、▼バンタム級 岡崎巖（山口）、▼フェザー級 間庭秀夫（東京）、▼ライト級 西森義久（北海道）、▼ウエルター級 風間貞夫（新潟）、▼ミドル級 相原昇（神奈川）、▼ライトヘビー級 大塚勇（神奈川）、▼ヘビー級 斎藤昌典（東京）

《高校優勝者》▼フライ級 中田茂男（北海道）、▼バンタム級 佐藤修治（新潟）、▼フェザー級 友田義人（山口）、▼ライト級 河合政彦（岐阜）、▼ウエルター級 藤村孝次（東京）、▼ミドル級 河合治十（山口）、▼ライトヘビー級 鈴木協夫（秋田）、▼ヘビー級 服部勤（岐阜）

※少年はフリースタイルのみ

◇西日本学生秋季リーグ戦（11月15～17日、大阪・）

①同志社大（初）、②関学大、③関大、④名商大、⑤近大

◇関東学生グレコローマン対抗戦（11月16日、東京・青山レスリング会館）=決勝成績

績

明大○ [5 - 3] ●日体大

※明大は3年連続3度目の優勝

◇東日本学生秋季新人戦（11月21～22日、東京・青山レスリング会館）

《フリースタイル優勝者》▼フライ級 勝村靖夫（日体大）、▼バンタム級 吉田嘉久（法大）、▼フェザー級 佐藤輝男（中大）、▼ライト級 清水守（東洋大）、▼ウエルター級 田上明男（慶大）、▼ミドル級 宗村宗二（明大）、▼ライトヘビー級 平塚博（法大）

※フリースタイルのみ

◇全日本学生王座決定戦（11月25日、京都・同志社大）=決勝成績

日大○ [11 - 0] ●同志社大

※日大は初優勝